

【天城町立兼久小学校】

勤務校での仕事の様子や魅力について

本校は創立 120 周年となる 2018 年に新校舎が建てられ、きれいな校舎の中で子供たちは学習に励んでいます。また 2025 年には校庭の土壌整備が行われ、水はけが改善され使い勝手がよくなりました。

児童生徒は純朴で、よく笑いよくしゃべる子供たちです。家で牛の世話をしている子供が多く、牛の話で盛り上がったり、闘牛ごっこをしたりする姿が見られます。約 40 年前から続く集団登校は、高学年が低学年の児童を見守り指導する兼久小学校の文化であり文部科学大臣・奨励賞をいただいたこともあります。

地域の方は学校教育にとっても協力的で、地域と学校とが一体となって行事等の計画・運営をしています。地域の方々といっしょに昔遊びやそうめん流しを行う「当部であそぼう」という活動や、感謝の気持ちを伝える「おぼらだれんコンクール」などが実施されています。

離島での生活の様子や魅力について

兼久小学校に赴任した際はコロナ禍でしたが、先生方が引っ越しを手伝ってくださってとても助かりました。

徳之島には道の駅があり、季節ごとに様々な果物や野菜が手に入ります。有名なマンゴーやパッションフルーツはもちろん、カニステルやロマネスコなど、本土ではあまり見かけない珍しい果物もあります。また、徳之島のバナナは小さいですが甘みが強く、とても美味しいです。道の駅で販売されているほか、自生しているものもよく見かけます。島内にはコンビニもあり、商品のラインナップも本土とほとんど変わらないどころか、焼きたてパンが売られているなど、本土とは少し異なるラインナップとなっています。

私は徳之島に来て釣りを始めました。休日は釣りが楽しみで、漁港やリーフ(岩礁)でルアー釣りをして、時期にもよりますがグルクンやミーバイなどが釣れます。船釣りも楽しむことができ、カスミアジやカンパチ、シロダイなども釣れるので、釣り好きな方にはおすすめです。

天城町にはバンガローもあり、バーベキューを楽しむながら宿泊もできます。



これからの離島に赴任する方へのメッセージ

離島に赴任すると聞いて、初めはドキドキしましたが、先生方、保護者の方、そして地域の方のサポートもあり、私は離島生活を楽しむことができています。